

(様式2)

令和7年10月14日

高松市教育委員会  
保健体育課長 殿

学校名 高松市立円座小学校  
校長名 北村 直行

公印  
省略

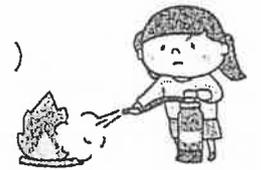
## 令和7年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、事業を実施したので、報告します。

学校の名称	高松市立円座小学校
派遣内容	防災教育に関する出前授業
日時	令和7年10月11日(土) 9:15 ~ 10:00
場所	高松市立円座小学校 体育館
対象者 参加人数	児童数 257名 クラス数 8クラス 教職員 10名 その他(保護者) 約100名
内容・日程等	地震・津波発生の仕組み、発生時の対応等
取組における成果	映像資料を見ることで、児童は地震・津波の恐ろしさを改めて認識していた。また、地震・津波が発生した時の対応の仕方について、具体的に示され、とても分かりやすかった。 学習参観として設定していたので、多くの保護者が一緒に防災について学ぶことができた。
今後の課題	東日本大震災の映像資料は分かりやすく、児童は心に残った様子だったが、被災された保護者の方がいた場合刺激が強すぎる気がした。

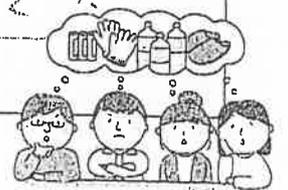
注) 当日の写真、資料等がありましたら、A4縦で添付してください。





防災に関する話を聴いて、学んだことをメモしておきましょう！

- ・地震は家で家がこわれたらお金を出して直してもらう。
- ・能登半島の地震では、29000人以上のいらいが来た。
- ・いつ災害がおこるかわからないので、そんを覚えておく。
- ・大きな地震が起ると建物かくなれたり道路が壊れたりする。(地震・津波)
- ・津波は、14mまで、円座小の海面は、30m
- ・日本は1日で、1700回くらい、地震や津波が起る。
- ・自分の命を守る事が大切
- ・地震には二種類ある。
- ・プレートがぶつかる地震は南海トラフ(数は少ない)
- ・プレートは、ユーラシアプレート、フィリピンプレート、北アメリカプレート、太平洋プレートにかまかまっているのが日本
- ・4つのプレートにより、地震が起る。
- ・プレートのずれによる地震や津波
- ・3つのはずれは上下に物をぶつかす。
- ・津波は物を飛ばす。
- ・津波は家をおし流すくらい強い力があるとても速い伝い1分以内で、伝わる。
- ・プロップ用の遠くからはにげて、高いところに行く
- ・海からは、はなれる
- ・家で、地震が起ると、たすけ道をつくらせんとせんをしぬ、津波けいほうを、確認する





防災に関する話を聴いて、学んだことをメモしておきましょう！

お金をみんなから集めて、何かあったときに、お金をあしはらして  
 くれて助け合いのしくみになっている。

地震の対応は、全国でサポートしている。

火災や津波が起きる。(じしんがおきると...)

東日本大震災 14mのつなみが来た。日本は1日700回  
 の地震が起きている。いつ地震が起きるか分から  
 ないからその前のそなえることが大事。

地震は二種類

回数	多い	少ない
津波	ほとんど起きない。	起きる。

4つのプレートが日本の所にある。

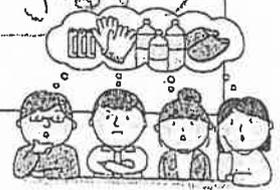
津波はとっても速く、強い力であされる。

高い所へひなんする。

円座小海上 (38m)

災害用伝言ダイヤル (171)

③ 私はいつどんな時に地震が起きるか分から  
 ないので、家族とどこに集まるのがひなんらくるを用意  
 したいと思いました。東日本大震災の時は、14m  
 もの津波が来たのがびっくりしました。そのような  
 時はどこにひなんするのが、など話し合っておき  
 たいと思いました。そして確信にひなんできるよう  
 になりたいなと思いました。



災害用伝言ダイヤル(177)

待ち合わせ場所



防災リュックの準備用持ち出しバッグ

→水、かい中電灯、食べ物、ビニールふくろ、笛

アルミホイール、ばんそうこう、エトアキ

かんい用トイレ、ラジオ、モバイルバッテリー、テープ

まとめ

・いせんに話し合う(待ち合わせ場所)

・防災バッグの確認

・危ないところ、ひなでさるところの確認

〈ふりかえり〉

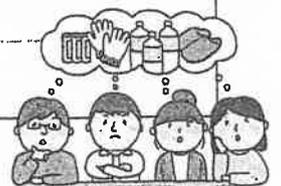
改めて知ることで、今日の授業を通して知ることかやがた  
た。防災<sup>の</sup>バッグの中身を再確認したい。津波と波の  
ちがいを初めて知ったので、よりおそろしく感じた。た  
から事前の話し合いがすごく大事なんだなって  
思った。



防災に関する話を聴いて、学んだことをメモしておきましょう！

お金をあつめてなにかあったとき お金をとどける → 助け合いのしくみ  
 ひちちでおいたことを全国でサポート 自分のいのちを守ること  
 かが大切 地しんは命にかかわること 東日本はか12mのつなみ  
 海面から38m 1日に700回にじしんが起きる  
 → 2分に1回にじしんが起きるペース プレートの境でおこる  
 じしん → つなみの発せが高い  
 つなみ → 家をおし流す、とても速い、広いはんまで伝わる  
 ひなんする場所をかくにんする、りょう花でも  
 さいがいほう伝言ダイヤル171 日ごろの備えて自分のいのちを守る！

① 今回の講演会を聞いて 地しんは命にとっても関係あることが分  
 かりました。地しんのしるいは2しるいでとても多くおこるじしんと  
 プレートで起る地しんがあると分かりました。プレートでおこる  
 地しんはつなみが起きると分かり、こわいと思いました。つなみ  
 と、なみのちがいの映ぞうを見てなみは上下に重くかんじて  
 つなみはよにおしよせてくることを知り自分にはにげられるのか？  
 と不安になりました。





防災に関する話を聴いて、学んだことをメモしておきましょう！

365  
1700  
100

265  
100

185  
100

15

保険会社とは 保険料を集め災害が起きた時  
↓ 家を直したりする  
助け合いのしくみ

日本は旧地しんが700回ある  
↑ しんどい以下もある

	活だん層	プレートの境
回数	多い	少ない
津波	ない	多い(ぶかい)

波 物を上下に動かす  
津波 物をおしたす



津波は、海、車といっしょ  
↓ 陸 50m走 5秒  
強い力、速い、広い



ガラス張り、ブロックべい、せまい道からはなれる。海、川からはなれる  
高い場所に行く

災害用伝言ダイヤル 171

